

花びと通信

No.36 2021年9月1日

花びと会ちば

【令和3年度 通常総会&ミニ講演会報告】

開催日：2021年4月14日（水）13：30～16：15

会場：千葉生涯学習センター 小ホール

令和3年度花びと会ちばの総会について報告いたします。

事務局である千葉市緑政課緑と花の推進室における定期人事異動に伴う事務局員の紹介、会長の挨拶の後、櫻浦副会長の進行により第1号議案の事業報告から始まり、収支決算、監査報告、事業計画、最終の第5号議案収支予算について審議の結果すべて原案どおりに承認・可決となり総会は閉会しました。

話題は前後しますが、この総会に先立ち、恒例となっている講演がありました。今回は事務局で日夜我々のバックアップにご尽力いただいている、高瀬健さんに「千葉の昔と園芸を少々」と題したお話を頂戴しました。

高瀬さんは大賀ハスが咲き誇る千葉公園のすぐ近くの椿森生まれで生粋のちばっ子！親の代から引き継いだ貴重な写真をスライドに仕立て、昭和30年から40年代の千葉公園の大賀ハスの様子などを紹介してくださいました。

穴川付近からさつきが丘方面にかつて存在した軽便鉄道のお話しには改めて千葉市の昔は軍都であったことを思い、現在の平和の大切さを感じました。余談ですが、この軽便鉄道で使用されていた機関車は東京都練馬区江古田の街角に保存展示されています…

ご自身の千葉市の職員として緑と花にささげた半生に及ぶ経験を随所にちりばめてのお話しは、たいへん有意義で、過去を知ることでこれからの花びと会が担うべきことを描くためにとても参考になりました。

この場をお借りして高瀬さんに厚くお礼申し上げます。

ご参集のみなさま、ありがとうございました。

日野達弥

【大賀ハスマつり 中止に】

今年は、大賀ハス発掘70周年の記念すべき年で、「大賀ハスマつり」も盛大に開催したいと昨年の12月より協力団体等で会議を進めてきました。駅からハイキングも開催されると伺い一層熱が入りました。5月7日に千葉公園の内外に「大賀ハスマつり」の幟旗を設置しました。その後、千葉市でも「まん延防止等重点措置区域」が延長された事から5月19日の会議でやむなく中止の判断をいたしまし



（生涯学習センターでの展示）

た。コロナ禍で出来る事は実施しようと、計画していた生涯学習センターでのパネル展示は行いました。その後は、千葉公園の蓮華亭内に移動をして展示をしました。大賀ハスを見に来られた多くの方々が熱心にパネルを見ている姿には胸があつくなりました。

【大賀ハス開花 70 周年記念事業実施に向けて】

来年令和 4 年は、大賀ハス開花 70 年となる記念すべき年になります。私たち「花びと会ちば」とその事務局である千葉市緑政課は、この機会に大賀ハスの価値を更に発信すべく、歴史的・文化的価値の理解促進と全国との交流、一年を通じた魅力の発信を目的として、大賀ハス開花 70 周年記念事業実行委員会を結成し、今年の春から動き始めました。

実行委員会のメンバーは、花びと会ちばのメンバーを中心に南定雄先生が顧問を務める蓮文化研究会、大賀ハスのふるさとの会、千葉商工会議所女性会、近隣の大学が連携した産官学プラットフォーム（今年度幹事校：千葉経済大学）です。

7 月 14 日に開催された第 3 回実行委員会では、各委員が資料を持ち寄りアイデアを発表、大賀博士記念館を作る、花見川沿いにハス田を作る、70 周年ドキュメンタリー制作、みなと公園の整備など大規模なものから、主に子供をターゲットとした紙芝居やかそりーぬとのコラボ、こども花火大会など、その他には、大賀ハスに関係する都市との交流や公園の見どころマップの作成など様々な企画が提案されました。西千葉地域で活動している Drops さんからも提案を頂きました。

今後、詳細は実行委員会で詰めてゆきますが、大まかな方向性としては、次の通りとなりました。

- ・例年開催している「大賀ハスマつり」で関連する様々なイベントを実施
- ・生涯学習センターでのシンポジウム（基調講演及びパネルディスカッション）開催
- ・大賀ハスのことやシンポジウムの内容を盛り込んだ記念誌を発行
- ・子供たち向けにアニメ「大賀ハス物語」の動画や映画を制作

70 周年記念事業実施に向けて、検討することが山積ですが、今後も実行委員会を継続開催し、これからの千葉にとって意義のある事業にしたいと考えています。

榎浦敏彰

【バナー設置】

蓮華亭展示検討会で提案されていたバナー。グラフィックデザイナーで賛助会員の森さんのご協力を得て（縦 257 センチ 横 681 センチ）の巨大なバナーが完成。原画は千葉市政 100 周年記念漫画より転写しました。何となく暗かった蓮華亭が、インパクトあり、躍動感ありのバナー登場でまるで大賀ハスが咲いたように明るくなり、多くの来場者の方々がその前で写真を撮っていました。漢字にルビをふったので、子供たちが大きな声で読んでいたのがとても印象的でした。



(2021 年 6 月 4 日設置)

【6 月 ミニイベント開催 コケ玉講習&大賀ハスガイド】

大賀ハスマつりは中止となりましたが、ミニイベントとして 6 月 26、27 日に大賀ハスガイドとコケ玉講習を行いました。恒例となりました大賀ハスガイドは早朝にもかかわらず多くの方々が参加され、ハス池の辺りでリーフレットを片手に熱心に講師の話に耳を傾けておりました。間近でハスの花を手取るように見ることができるのが、何といたっても千葉公園の魅力のひとつです。このような地道な活動が世界最古の花大賀ハスのファンを増やしているのではと思います。又、コケ玉講習は 2 日間で 45 名の受講があり用意した花材が足りなくなる程の大変な賑わいでした。参加者の中には親子で参加のマニアックな小学生もあり、子ども達は泥んこ遊びの感覚で自由に楽しんでおりました。年齢を問わずに小さな自然で生活空間にうるおいをと根強い人気がある講座です。コケ玉講習はここ数年来、花びと会への依頼講習 No. 1 となっています。今年度もすでに 5 館の公民館で実施いたしました。



高橋公子

【会員研修 千葉都市緑化植物園】 開催日：2021年5月20日（木）

自宅から近くの緑化植物園。昔はよく子供たちを連れてきたものです。久しぶりの来園に少しワクワクしました。初めに研修室でみどりの相談員の鈴木さんより、この時期の園内の見所やそれぞれの植物の特徴の説明を受けました。その中で私はムクロジの木の実の皮を水に溶かすと泡立つことや、子供の無病息災のお守りとして神社に植えられたとの話を聞き、小学生の時夏休みのラジオ体操をした地藏堂の庭にあり、その実を追い羽根に見たてて遊んだのを懐かしく思い出しました。



（タラヨウの葉）

散策の途中タラヨウ（モチノキ科）の木の中で、この木は平成9年に郵便局の木として制定され植栽を奨励されたとのこと、そしてこの葉に絵や文字を書くと茶色に浮かびあがりハガキとして立派に通用、もちろん切手を貼れば届きますよと教えていただきました。帰宅したら早速孫と一緒に楽しみたいと思い、許可をいただき散っている葉を数枚いただきました。

帰り際、会員の方からハクモクレンの葉を水に浸しておくとうす茶色の葉脈だけが残るドライの葉ができるとの話を聞き早速ためしてみました。20日位で完成、とても素敵に仕上がりました。

華表 静子

5月にようやく会員の皆様に当植物園を見てもらおう機会を得ました。

当植物園は千葉市に2つある植物園の1つです。昭和54年に開園し、野草など千葉市に本来自生している植物を中心に栽培されています。現在は色々なサークルの人達が活動し、多くの市民の隠れ家的な植物園として安らぎの場を提供しています。



私もここへ来て4年目、早く会員の皆様に観ていただき、更なる植物の楽しみを提供したいと考えていました。バラ展が終わって、少し落ち着き、ウツギ類やアヤメ類が咲きだしました。日差しもさわやかな時期に園内を散策し、花の名前や木の特性など楽しく話すことができました。

コロナ禍で出歩いたり人と会うことも難しい昨今ですが、のんびりと植物の癒しを味わうひとときを過ごせました。また時期を変え、植物園の違う面も見たいと思います。

千葉市都市緑化植物園相談員

花びと会会員 鈴木康博

【市民会館 花壇管理】

令和3年度 第1回目となる市民会館花壇の植え替えを5月17日（月曜日）に行いました。毎回の事ながら、朝の通勤時なのでお花好きの方々に声をかけていただき、元気をもらいながらの作業でした。花材はジニアとマリーゴールド、どちらも暑さや日照りには強く、花期の長いお花です。今年から年2回の植え替えとなってしまいました。温暖化の影響もあり、年々夏の暑さが厳しくなっています。同じ花を6か月間維持できるかしら？と内心心配です。端境期には常緑のゴールデンモップやハツユキカズラ、サントリーナ等で工夫しています。植え替え前には、古株の抜き取り、整地作業があり、会員の田野さんが頑張ってくれています。次回は、11月末にパンジーの植栽を予定しております。会員の皆様ご協力をよろしくお願いいたします。 畔田幾子

【講師派遣事業 コケ玉講習】

コロナ禍が続く中、花びと会ちばの「講師派遣事業」の一環として千葉市内5箇所の公民館でコケ玉講座を実施しました（去年は2箇所）。何事もなく笑顔で楽しんでもらえたことは幸いでした。コロナリスクをはねのけた各公民館の職員の方々、そしてご参加いただいた方々に感謝いたします。コケ好きの女の子も参加してくれたのには、びっくりしました。

自らの手でコケ玉をつくり達成感が得られ満足したなどの感想をいただきました。コロナ禍でこもりがちな日常生活のストレス解消につながったと思います。またお帰りになってコケ玉と会話し水やりなどの世話をされ楽しんでのことでしょう。

コケは街中から山の中、日なたから日陰といたるところで見られます。根を持たず仮根（かこん）で地面や石などにしがみつきます。仮根は水を吸わず体全体で水を吸います。さらには「死んだふり」をして乾燥に耐えるなど生命力抜群です。過酷な環境に適応し5億年も生き続けている原始的な陸上植物であるのもうなずけます。コロナで右往左往している人間と比べると強かさは、半端ない存在です。このような性質なので栽培は簡単と思われがちですが以外と気むずかしいです。生育している環境（日照、水気など）をよく観察して、コケ単独栽培にチャレンジするのも楽しいかもしれません。

来年、コロナウイルスが鎮静化し公民館コケ玉講習が開催されるのであれば、一緒に楽しい時間を過ごしたと思っております。

藤平 真一郎



【今後の予定】

月 日	時 間	内 容	場 所
10月12日～17日	10:00～15:30	フラワーフェスティバル	花の美術館
10月16日	13:00～15:30	親子寄せ植え講座・花カフェ リース作り・コケ玉講習	
10月17日	10:00～15:30	リース作り・コケ玉講習・花カフェ	
11月4日	10:00～11:30	花議連さんとの意見交換会	議会棟
11月20日	10:00～15:00	ちはなちゃん誕生会	千葉公園蓮華亭
11月～12月上旬		会員研修予定	未定

※今後の新型コロナウイルス感染拡大に伴い予定が変更となる可能性があります

個人会員 & 賛助会員 募集！

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。

研修会、講座、講演会等を開催しています。

- ◆個人会員 年会費:1,000円
- ◆賛助会員 個人:年会費:3,000円
団体・企業年会費:5,000円



花びと会ちば事務局

「千葉市都市局公園緑地部緑政課」

Tel043-245-5753 Fax043-245-5885

midoritohana@city.chiba.lg.jp